

## 全国学力・学習状況調査の結果について

4月に、全国の小学6年生を対象として「全国学力・学習状況調査（国語・算数・理科、及び児童質問紙）」が実施されました。本校の結果を分析しましたので、概要と今後の取組についてお知らせいたします。

今回の結果は、子供たち一人一人の努力の積み重ねや、保護者の皆様の御家庭での御支援によるものです。日頃の御協力に心より感謝申し上げます。

### 1 本校の傾向

全体として県平均とほぼ同程度で、教科によっては、全国平均を上回る結果も見られました。

一方で、どの教科においても、得点が中間層に集中するのではなく、上位層と下位層に分かれる傾向が見られました。

	国語	算数	理科
愛媛県	-1.8	0	-0.1
伊方町	0.2	0.0	0.9
九町小	-1.8	2.0	3.9

【全国平均との比較】

### 2 各教科の分析

#### (1) 国語

- ・発言の意図を読み取ったり、書き方の工夫に気付いたりする力は、しっかりと身に付いています。
- ・漢字の正答率も高く、基礎的な力が定着しています。
- ・一方で、資料を基に自分の考えを整理し、条件に沿って文章を書く問題を苦手とする児童が、多く見られました。

#### (2) 算数

- ・基礎・基本の技能は、おおむね身に付いています。
- ・一方で、分数の概念理解や、グラフを読み取って自分の考えを理由とともに説明する問題では、課題が見られました。

#### (3) 理科

- ・全ての領域で県平均を上回り、基礎的な知識がしっかりと身に付いています。
- ・ただし、一部で金属の性質について、「電気を通す性質」と「磁石に付く性質」を混同する傾向が見られました。

#### (4) 児童質問紙

- ・自己肯定感が高い傾向があり、全国と比べて家庭での学習時間も多いという結果でした。
- ・一方で、「算数の授業内容がよく分かる」と答えた児童の割合が全国よりやや低く、読書時間

も少ない傾向がありました。

### 3 今後の取組

今回の調査結果を踏まえ、次のような取組を進めてまいります。

- 学習内容をしっかりと定着させるために、授業や家庭学習で**復習問題や単元の振り返り**を継続的に行います。
- 定着の状況をきめ細かく把握するために、**月間漢字テストや計算テスト**を実施します。
- 語句の説明や補助線の活用など、子供たちの理解を助ける「足場がけ」を行い、**読解力の向上**を図ります。
- 引き続き「eスタ」を活用し、ニュースを読んで内容をまとめたり、自分の意見や感想を書いたりする活動を充実させます。
- 子供一人一人に合った目標を立て、**読書活動の推進**に取り組みます。



月間テストに臨む3・4年生。  
真剣なまなざしです。

本校では、今回の結果を子供たちの「**可能性を伸ばすための貴重な手がかり**」として捉えています。御家庭と連携しながら、一人一人の学びをしっかりと支えていきたいと考えています。今後とも引き続き、温かい御支援をお願いいたします。